

B2「機械の制御安全」講習会

(安全設計と機能安全、ISO 13849-1(JIS B 9705-1)による実現と考え方、運用方法、実施事例)

1. ねらい

機械の制御システムの安全関連部に電気・電子技術やコンピュータ技術が使用するときには、機能安全の考え方を取り入れた制御システムの選択と使用を国際規格は要求しています。

本講習では制御システムの安全関連部を機能安全 (ISO 13849-1) による安全確保の考え方と実現方法についての基本的な技術を解説すると共に、その適用方法と実施事例を解説し、実際の機械設備の設計で活用して頂くことをねらいとしています。本講習会に続いて機能安全を学ぶ「A4：制御安全上級コース」を用意しています。

なお本講習会は、厚生労働省指針基安発0415第3号の(電気・制御技術者のみ)制御システムの安全関連部 (JIS B9705-1 (ISO 13849-1)) の科目 (5時間) を満たし、更に電気・制御技術者に学んでいただきたい技術を盛り込んだものです。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 2019年12月19日(木) 受付：9時30分より
- 開催場所 きゅりあん 4階 研修室
品川区立総合区民会館「きゅりあん」 東京都品川区東大井5-18-1
- 定員 30名(但し定員に達し次第、締め切ります。)

3. プログラム

時刻	講義 No	内容(章はテキストの章を示す)
10:00~10:10	(10)	オリエンテーション
10:10~11:10	1	第1章：基本安全規格で示されるインタロックシステム
11:10~11:50	2	第2章：制御システムにおけるインタロックシステムの論理構造 第3章：機械的および電気的安全原則
11:50~12:40	(50)	昼食・休憩
12:40~13:10	3	第4章：インタロック回路の基本構造
13:10~14:10	4	第5章：機械安全におけるプログラマブル電子システムの扱い例 第6章：制御システムの安全関連部におけるISO 13849-1
14:10~14:20	(10)	休憩
14:20~14:50	5	第7章：IEC 61508 における診断範囲(DC)と安全側故障比率(SFF)
14:50~15:40	6	第8章：液空圧制御技術
15:40~15:50	(10)	休憩
15:50~16:40	7	<演習>機械安全における制御システムの安全関連部の評価
16:40~16:50	8	総合質疑とまとめ

* 本講習会の受講にあたりCコース(特にC3講習会)を受講されていることをお勧めします。

* B1、B2の2講習会の修了者に、Bコースの修了証を発行します。

4. 講師

当会講師

5. 講習会費用 会員 15,000円(消費税別) 一般 20,000円(消費税別)

お振込みは銀行振込でお願いします。

お問い合わせ 受講申込み	一般社団法人安全技術普及会 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email entry@d-sostap.or.jp ホームページ http://www.d-sostap.or.jp/
-----------------	---